

年間授業計画様式例

砂川高等学校令和5年度 教科 地理歴史 科目 世界史A 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：日本史A 単位数：2単位

対象学年組：第2学年1組～5組

教科担当者：（再履①：井田 豊）（2再履②忍田 則行）

使用教科書：（明解 世界史A（帝国書院））

使用教材：（グローバルワイド 最新世界史図表 初訂版（第一学習社））

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	前近代の諸文明 大航海時代とアジアの繁栄	地中海世界・イスラーム世界・中国・南アジア・ヨーロッパなどの文明の特質、日本史とのつながりや比較を通じて世界史学習の基本を把握させる	定期考査・課題提出・授業態度等から総合的に評価する。	2 2
5月	アメリカ独立戦争 ウィーン体制	アメリカ独立革命、フランス革命を扱い、市民革命によって、近代民主主義の理念と制度の原型が成立したことを理解させる。	定期考査・課題提出・授業態度等から総合的に評価する。	2 2
6月	産業革命 1848年の革命 イギリスの繁栄と改革 国民国家の発展 繁栄と改革 国民国家の発展	イギリス産業革命によって、資本主義社会が確立したことを理解させる。	定期考査・課題提出・授業態度等から総合的に評価する。	2 2 2 2
7月	ロシアの大改革と南下政策 アメリカ南北戦争	ヨーロッパ・アメリカにおいて、国民形成と自由主義が確立したことを理解させる。	定期考査・課題提出・授業態度等から総合的に評価する。	2
8月				
9月	イスラームの近代 イギリスのインド支配 東南アジアの植民地化	アジア諸国の近代化への努力と、植民地化・従属化への抵抗と挫折を把握させる。	定期考査・課題提出・授業態度等から総合的に評価する。	2 2 2
10月	中国の工業化と日清戦争 東アジアの国際関係 辛亥革命	清の洋務運動と日清戦争、中国分割、朝鮮半島の植民地化を、近代日本との関係も含めて考察させる。	定期考査・課題提出・授業態度等から総合的に評価する。	2 2 2
11月	帝国主義 ドイツの世界政策と国際緊張 バルカン半島情勢 第一次世界大戦	世界分割と「再分割」への要求が、ドイツと英仏の対立が深まったことを理解させる。 第一次世界大戦勃発の原因と、従来との違いを考察させる。 世界分割と「再分割」への要求が、ドイツと英仏の対立が深まったことを理解させる。 第一次世界大戦勃発の原因と、従来との違いを考察させる。	定期考査・課題提出・授業態度等から総合的に評価する。	2 2 2 2
12月	ロシア革命 アメリカの参戦	ロシア革命の原因と最初の社会主義国家の特質を理解させる。	定期考査・課題提出・授業態度等から総合的に評価する。	2 2
1月	ヴェルサイユ体制 アメリカの繁栄 アジア・アフリカの独立運動	第一次世界大戦後の国際秩序を把握させる。 第一次世界大戦後、アジア・アフリカの人々が自治・独立の要求を強めたことを把握させる。	定期考査・課題提出・授業態度等から総合的に評価する。	2 2 2
2月	世界恐慌 ニューディールとファシズム 第二次世界大戦と戦後	世界恐慌が国際秩序に危機を招いたことを理解させる。 米ソを中心とする東西両陣営の対立の構造を理解させる。 冷戦後の国際社会を考察させる。	定期考査・課題提出・授業態度等から総合的に評価する。	2 2
3月	まとめ	世界の動きの中での日本を理解し生徒の今後の生活の中でどのように役立たせるか理解させる。	定期考査・課題提出・授業態度等から総合的に評価する。	2